

過剰な病床機能への転換について

1 医療法及び国通知（H30. 2. 7 地域医療構想の進め方について）における考え方

- 都道府県は、公的医療機関等 2025 プラン、病床機能報告の結果等から、過剰な病床機能に転換しようとする医療機関の計画を把握した場合には、速やかに、当該医療機関に対し、地域医療構想調整会議への出席と、病床機能を転換する理由についての説明を求めること。
- 病床機能報告において、6年後の病床機能を、構想区域で過剰な病床機能に転換する旨の報告をした医療機関に対して、速やかに、
 - ① 都道府県への理由書提出を求める。
 - ② 理由書の理由等が十分でない場合は、地域医療構想調整会議での協議への参加を求める
 - ③ 調整会議での協議が整わない場合は、都道府県医療審議会での理由等の説明を求める

2 湘南東部構想区域の病床の状況（平成 29 年度病床機能報告結果）

構想区域	病床機能区分	2017(H29) 病床機能報告結果 (A)	2025年の 必要病床数 (B)	必要病床数との比較 (過剰・不足) (A-B)	過剰な 病床機能
湘南東部	高度急性期	630	539	91	→ 過剰
	急性期	1,913	1,585	328	→ 過剰
	回復期	408	1,303	△ 895	
	慢性期	1,127	1,150	△ 23	
	休棟中等	2	-		
	合計	4,080	4,577		

3 過剰な病床機能への転換を検討している医療機関

(※2016年・2017年は病床機能報告、2018年・2025年は2025対応方針より)

(1) 改修や報酬の届出を伴うもの／不足する病床機能から過剰な病床機能への転換

病院名		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	理由・転換予定時期等
医療法人社団康心会 茅ヶ崎中央病院	2016		41床	30床	29床	100床	★建替工事に伴い、2017.1月に34床減床(茅ヶ崎新北陵病院へ13床、湘南東部総合病院に21床移動)
	2017		66床			66床	
	2018		66床			66床	・現在、病院建替え工事中 ・2020.2月 第一期工事終了 100床(一般急性期96床、ICU4床)へ増床予定 ・2022.2月 第二期工事終了 324床(一般急性期100床、ICU4床、回復期100床、療養100床)へ増床予定
	2025		104床	100床	120床	324床	
	2025-2018	-	+38床	100床	120床	258床	
	2025-2016	-	+63床	+70床	+91床	+224床	
医療法人社団康心会 茅ヶ崎新北陵病院	2016			57床	219床	276床	★2017.1月に茅ヶ崎中央病院から13床を移動
	2017			58床	231床	289床	・2020.2月 茅ヶ崎中央病院へ13床を戻し、276床へ減床 ・2022(第二期工事完了):茅ヶ崎中央病院へ124床移設し152床へ減床 ・茅ヶ崎新北陵病院内の改修工事を経て、湘南さくら病院(精神単科)より精神病床156床を移設(湘南さくら病院は廃止)
	2018			58床	231床	289床	
	2025		44床	0床	108床	152床	
	2025-2018	-	+44床	△58床	△123床	△137床	
	2025-2016	-	+44床	△57床	△111床	△124床	※急性期への転換については、第二期工事終了以降で実施予定
医療法人社団康心会 湘南東部総合病院	2016		237床	28床	12床	277床	★2016.12月に一般病床6床増床済 ★2017.1月に茅ヶ崎中央病院から21床を移動
	2017		207床	53床	44床	304床	
	2018		239床	53床	12床	304床	・2020.3月 茅ヶ崎中央病院へ21床を戻し、21床減床 ※71床(急性期)の増床 71床(減床(戻)した21床分+50床)の急性期の増床を予定。病床配分がない場合は、法人内で病床を融通して整備を行うことも検討。
	2025		302床	40床	12床	354床	
	2025-2018	-	+63床	△13床	0床	50床	
	2025-2016	-	+65床	+12床	-	+77床	
法人全体	2025-2018	-	+145床	+29床	△3床	+171床	
	2025-2016	-	+172床	+25床	△20床	+177床	

★茅ヶ崎中央病院に+100床病床配分済(H27配分済)

★71床は、現時点では病床配分されていない

(2) 改修や報酬届出を伴わないもの／過剰な病床機能間での変更

病院名		高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	計	理由・転換予定時期等
藤沢市民 病院	2017	484床	46床			530床	・高度急性期・急性期医療を担う地域の基幹病院としての役割を今後も継続して進めていく。 ・地域医療機関との機能分担及び連携をさらに進め、状態の安定した患者については退院支援を図り、切れ目のない医療提供体制を築いていく。
	2025	530床				530床	
	2025 -2017	+46床	△46床	-	-	-	
一般社団 法人同友 会 藤沢湘南 台病院	2017		229床	63床	30床	322床	★2018.4月に一般病床(ICU)8床増床済 ・当院の医療資源投入量3,000点以上が急性期病床数(267床)の平均で10%を占めているので、高度急性期は27床とした
	2018	27床	240床	33床	30床	330床	
	2025	27床	240床	33床	30床	330床	
	2025 -2017	+27床	+11床	△30床	-	+8床	

4 今後の対応

- ・ 3 (1) については、事務局で確認のうえ、計画が具体的になった段階で、地区保健医療福祉推進会議において報告、協議